

- 1 題材名 『ブラインドゲーム』
- 2 題材のねらい 絵の一部分から全体を想像することで、絵をよく見る活動に興味をもつ。
- 3 指導目標
- ・絵の一部から全体を想像する活動を楽しもうとする。 [関心・意欲・態度]
  - ・絵の一部から絵を構成している形や色彩気づき、イメージをふくらませることができる。 [鑑賞の能力]

4 指導計画 (10～13分計画)

	学 習 活 動	留 意 点
導 入  2 分	今日は宝箱を使って、ゲームをします。 班隊形を作ってください。  班長はカードを取りに来てください。 カードの絵の描いてある方を表にしてカルタ取りみたいなバラバラに並べてください。	班隊形は机をぴったりつけさせる。 (コミュニケーションを円滑にする目的。生徒にはカードが落ちるといけないと言えれば納得する) 配るカードは生徒の学年や、グループの人数にあわせて調整する(全部配らなくても可)
展 開  10 分	黒板に『ブラインドゲーム』と板書。班の得点表を板書する。 今から先生が絵を見せます。その絵と同じものを机の上のカードから見つけてください。ただし、絵は一部しか見えないようになっています。見せる時間は5秒間です。見逃さないようによく見てね。 では第一問! (5秒見せたら絵は伏せる) 考える時間を5秒とります。グループで相談してどの絵が決めて下さい。他の班にまねされないようにね。(5秒カウントダウンする。) 一斉に上げてください。 正解は・・・	見せる時間は子供の状況に合わせて調整する。 意外と短めの方がよい。 教室全体に見えるように持ち方、見せ方に注意する。  盛り上げるように、言葉を選びながら。 前半がオープンしたらちょっとコメントをはさむとよい。  正解の班に得点を与える。
ま と め	合計得点を発表し、1番の班に拍手!!	

実践して気が付いたことなど

中学1年生で実践しました

- ・ブラインドの穴はかなり小さめの方がいいです。スリットとか、とか、色々工夫してみてください。紙芝居みたいなケースを作って、一枚ずつめくっていくとテンポよくできます。
- ・拡大版の宝箱カードはパソコンのスキャナを使って作るか、カラーコピーで。大きめ(A3以上)に。
- ・個別でもできますが、グループにすることで、話し合い、コミュニケーションが取れます。
- ・5枚ほど用意してやりましたが、もっとやりたい!!の声がありました。ただ、飽きる前に次に進んだ方がいいと思います。

生徒の感想

- ・絵の一部から全体が分かるのでびっくりした。
- ・色とか、形の一部がヒントになるんだと思った。
- ・意外と簡単。でもよく見るくせがついた。 など

ワークシート(ブラインドゲームを含め、3つのゲームをやった時に使ったものです。)

《美術・鑑賞》 月 日( )実施

# 『たからばこ』を使ったアートゲーム

1 - ( )組( )番 氏名( )

絵を鑑賞することを、ゲームにして楽しもう！

ゲームをしながら、鑑賞の力を身につけよう！

ゲームのまとめ

ゲーム名	内容	自己評価	気づいたこと・感想
ブラインドゲーム	絵の一部を隠してその絵を当てる	絵を見つけられたか A・B・C	
キーワードゲーム (スリーヒント)	絵を見て思いつく言葉を3つ考え、それをヒントに絵を当てる。	キーワードを考えられたか。 A・B・C	
納得ゲーム	絵の共通点を考え、絵をつなげていく。	共通点を言葉にできたか。 A・B・C 友達の意見を聞いたか A・B・C	

今日使ったアートカードの作品は、神奈川県立近代美術館で現在公開中です。

興味がある人は美術館に行ってみよう！中学生は無料ですよ！